

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

 E-mail: sodan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95
 JR東海品川ビル8F (03)6718-1251
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

第36回定期中央委員会を開催！



会場での団結ガンパロー

当面の活動方針を
満場一致で決定！

2月8日、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ホテルアソシア静岡を開催拠点に、第36回定期中央委員会を参集形式とリモート形式を併用する形で開催した。会場とWeb参加者をZoomアプリで繋ぎ、先の定期大会で確認したスローガンに加え、「安全・安定輸送の確立、2022春季生活闘争勝利、さらなる組織強化・拡大、第26回参議院議員選挙勝利」として掲げたサブスローガンと、当面の活動方針を満場一致で決定した。

委員会では、2022春季生活闘争の取り組みや「UNION FUTURE 2027」に基づく、詳細な当面の活動方針等が提起され、Web参加者も含めた13名の中央委員から力強い補強意見が示され、最後に、尾内中央執行委員長による団結ガンパローにより締めくくった。

「安全の確立」について、安全を守る原点は常に職場にあるとの認識に基づき、業務一つひとつに対して「どこまで安全にこだわって」遂行していく意識を高めていく。下期においては、安全の確保に向け、全ての職場による「アサーション（確認会話）」の積極的な導入を図る。アサーションは「仕事の手戻り防止」にも繋がることから、業務の効率化が図られることにもなる。各級機関において、組合員一人ひとりへの声掛けを実践し、取り組みの浸透を図って頂きたい。

「2022春闘」について、連合の9年連続となる有額要求を柱とする「未来づくり春闘」を基軸に、JR連合も2月1日、2022春闘方針を決定し、「1、000円を目安に純べア統一要求を行うこととした。社会基盤を支える鉄道事業、医療従事者として常に「安全」を守っている私たちの処遇や労働条件には、まだまだ改善すべき課題がある。2022春闘交渉に對し中央本部は、地方交渉と連動させながら要求実現に向けて、精力的な労使交渉を展開する決意を申し述べておく。

「組織の活性化」について、コミュニケーションが不足しがちな状況が続いている中でも、各級機関は創意工夫を図ったうえで諸活動に取り組み、組合員間や役員間および両者相互間の対話を充実・強化するよう活動を作り上げてきた。今後、この状況が継続することを視野に入れながら、役員を含めた組合員間の意思疎通レベルを意識的に維持・向上させ、前に進めていく必要がある。

「ハートフルカンパニービジョン」実現に向けた取り組みについて、様々な機会得知得した組合員の想いやニーズ、課題認識を常に整理しつつ、緊急性や優先度合いを意識しながら、タ



尾内中央執行委員長

尾内中央執行委員長あいさつ（要旨）

イムリー且つ、きめ細やかに労使協議に反映する必要性を強く意識し、一歩ずつ前進を図る取り組みを継続して展開する。引き続き地本・総支部との意思疎通・連携をいっそう密にし、一丸となり取り組んでいく。

最後に「政治活動」について、本年7月に予定されている第26回参議院議員選挙において、私たちのために、真に活動できる候補者を国会に送り届けなければならない。JR東海ユニオン推薦候補者全員の必勝を目指し組織一丸となって取り組んでいく。

残る半年間、JR東海ユニオン全組合員が一丸となり「ONEチーム」を合言葉として、ともに頑張ろう。

